

平成26年度

”釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄				報告年月日: 2015/3/31		
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況	
	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	① まちを知る・人を知る	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成26年4月10日 平成27年1月29日	約20名		地域の「自然」を知り、活かすための活動として、弟子屈空港跡地を利用したそらの森植樹会を開催した。地域の「産業」を知り、活かす活動として、地域食材を活用したシーニックカフェの連携活動を行った。
		② 自然環境を知る・活かす	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成26年10月25日	約70名	A - 2	
		③ 景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	—	—	—	—		
		④ 温泉を知る・活かす	—	—	—	—		
		⑤ 体験活動を知る・活かす	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成26年10月25日	約70名	A - 2	
	2) 食を知る・活かす	① 地場産品を知る・伝える	札幌地下歩行空間におけるルートPR活動	シーニックカフェP 観光交流部会	平成26年10月18日～19日			地域の「食」を知り、活かすため、地域の名産品をPRする活動を行った。また、ルートの特産品のブランド化に向けた検討を行った。
		② 新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成26年9月～平成27年3月	約10名		
	3) 文化や歴史を知る・活かす	① 地域の各種文化を知る・活かす	—	—	—	—		地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をもとにルート内巡回写真展として開催した。
		② 地域の歴史を知る・活かす	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成26年7月10日～平成27年1月9日	約2000名		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況	
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	—	—	—	—	地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽や駐車帯清掃、リレー清掃によって、道路の美化を進めた。	
		①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成26年8月23日	約20名		
			リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成26年5月31日	約300名		
			沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成26年6月	主催側 約1000名		
		②沿道の景観を整理・改善する。	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成26年8月23日	約20名		
		③物語のあるみちをつくる	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成26年7月10日～平成27年1月9日			約2000名
	沿道花壇への植栽				景観まちづくり部会	平成26年6月	主催側 約1000名	
	④地域が担い・育てる景観づくりを進める	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成26年6月	主催側 約1000名			
		駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成26年8月23日	約20名			
	2)観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成26年4月10日 平成27年1月29日	約20名	観光客が地域をドライブする際に、美しい景観の場所とともに地域の美味しいカフェを巡れるようなスタンプラリーを実施した。また、シーニックカフェスタッフによるミーティングを通して、カフェにおいて地域の美味しい食材を届けるとともに、地域の最新情報を提供できるような検討を行った。さらに、地域を代表する道の駅である道の駅摩周温泉において、長期滞在者へのアンケート調査を行い、利用者の利用状況、ニーズを把握した。	
			くしろ・ねむる ぐるっと！スタンプラリーの実施		平成26年7月7日～平成26年10月31日	一般参加(応募者)540名		
		②既存施設の質を整える	道の駅摩周温泉での長期滞在者調査	運営委員会	平成26年8月11日～17日、平成26年9月9日～15日			
	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回	A - 1	観光客が地域をドライブする際に、景観の良いルートや場所、美味しいカフェといった地域の魅力をうまく巡れるような情報媒体を作成し、提供した。	
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	—	—	—	—		

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26					総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況	
4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	HP、Facebookによる 地元情報の発信	情報広報部会	通年			地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを走行し、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れられるように、地域マップやSNSでの情報提供を行った。
		道東エンジョイマップの 作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回		A - 1	
	②観光案内施設等による情報提供	道東エンジョイマップの 作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回		A - 1	
	③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	HP、Facebookによる 地元情報の発信	情報広報部会	通年			

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況		
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成26年10月25日	約70名	A - 2	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施し、地域の子供たちと一緒に駐車帯の清掃活動も実施した。また、ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。
			駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成26年8月23日	約20名		
	②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年	販売個数 タンブラー 約30個	A - 2		
	2)自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	—	—	—	—		平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動を本年も実施した。また、ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成26年10月25日	約70名	A - 2	
			ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年	販売個数 タンブラー 約30個	A - 2	
	3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイの ブランド化検討	運営委員会	平成26年9月～平成27年3月	約10名		ルートの特産品のブランド化に向けた調査、検討を行った。
②地域経済循環の仕組みを創る		—	—	—	—			

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：道東エンジョイマップの作成と配布（情報広報部会）

【概要】 地域情報面を釧路湿原・阿寒・摩周SBWが担当し、注意喚起のためのヒヤリハットマップ面を釧路開発建設部が担当して、協働で作成した道東エンジョイマップを道の駅や空港、レンタカー会社などで配布している。地域情報面には、昨年度まで好評だった移動距離・時間マップやビギナーズドライブマップの情報のほか、地域で活躍する女性に焦点をあてた「イキイキScenic Woman」も連載しており好評である。また、外国人観光客のレンタカー利用の増加もあり、現在は、英語版、繁体字版も作成している。

【配布状況】 平成26年度は夏期、秋期、冬期で3回発行（合計で約2万部発行）

【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（情報広報部会）、釧路開発建設部



夏期版の道東エンジョイマップ（日本語版）



冬期版道東エンジョイマップ（左：英語版、右：繁体字版）



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会（景観まちづくり部会）

ルートオリジナルグッズの販売（シーニックカフェP）

【概要】景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットの森づくりを行った。また、継続的な森づくりには維持、管理の経費も必要となることから、タンブラーなどのルートオリジナルグッズの販売を行い、売上金の一部をそらの森の苗木代、維持管理費として活用している。

【日時】平成26年10月25日 9時～14時

【場所】そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）

【主催】景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト

【参加人数】約70名



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2015/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成26年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2) 食を知る・活かす 3) 文化や歴史を知る・活かす	そらの森 植樹会	平成26年10月25日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて植樹活動の様子を紹介。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		札幌地下歩行空間におけるルートPR活動	平成26年10月18日～ 平成26年10月19日	釧路開発建設部	・全道ルート代表者会議と同時に開催されたイベントに、釧路開発建設部の職員が参加し、多くの方に地域の景観や食をPRすることができた。		
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2) 観光客を受け入れる環境を整える 3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4) 各種情報を伝える・蓄える	リレー清掃への参加	平成26年5月31日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場の職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて清掃活動の様子を紹介。	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		沿道花壇への植栽	平成26年6月	釧路開発建設部	・釧路開発建設部では、VSP活動の一環として花苗等を提供した。		
		★クリーンウォークへの参加	平成26年8月23日	釧路開発建設部	・釧路市阿寒町及び弟子屈町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部の職員が参加。		
		シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報を発信することができた。		
		くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーへの協力	平成26年7月7日～ 平成26年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。		
		道東エンジョイマップの発行・配布	年3回(夏期、秋季、冬期)	釧路開発建設部	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成を釧路開発建設部が行った。また、道の駅やレンタカー会社への配布を行った。		
		広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。		
		広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。		
		広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップやルートマガジンを庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。		
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる 2) 自然を保全・活用する仕組みを創る 3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	そらの森 植樹会	平成26年10月25日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて植樹活動の様子を紹介。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	

※表中“★”は、H26新規に実施した活動